

各位

東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター

<保護者調査>新型コロナウイルス感染症流行に伴う乳幼児の成育環境の変化に関する緊急調査
周知・情報共有（メール転送）のお願い

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の防止のため、全国に緊急事態宣言が発令され、保育・幼児教育の現場では昨年度末より登園・登校できない家庭や、就労状況・就労形態が大きく変わった家庭も多くあることと思います。

各家庭で生じている従来にはない生育環境の変化に伴い、子どもや保護者の心身の健康や子どもの遊びや学びの機会にも変化が生じていると考えられますが、その実態については十分に把握されていません。新型感染症の流行の収束に伴い、今後、段階的に園へのアクセスを正常化していく政策が行われていくものと考えられますが、実態に即した的確な対応や支援を行っていくためには、子どもや保護者の実態把握が不可欠です。

そこで、発達保育実践政策学センター（Cedep）では、乳幼児期の発達と保育の実践・政策を研究するセンターとして、まずは、各家庭における子どもの成育環境ならびに子どもの変化を把握し、共有・発信することが重要だと考え、下記の調査を計画いたしました。

調査結果(速報値)は、5月中を目途に、CedepのWEBページ(<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/>)に掲載するとともに、各所に発信してまいりたいと存じます。Cedepのこれまでの活動の詳細もWEBページでご覧いただけます。お忙しい中とは存じますが、ご協力を賜れますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

記

以下の保護者対象調査を実施いたしますので、可能な範囲で、貴園の保護者の皆様に調査への回答をご依頼賜れますと幸いです。また、SNS等をお使いでしたら、ぜひ広く周知していただけたらと存じます。

新型コロナウイルス感染症流行に伴う乳幼児の成育環境の変化に関する緊急調査

【対象者】0歳～就学前のお子さんの保護者の方

【目的と調査内容】

- ・ 新型コロナの流行、ならびにそれに伴う社会情勢の変化が、保護者や子どもの日常生活や心身の健康にどのような影響を与えているのかを学術的に明らかにすることを目的としています。
- ・ 養育環境の変化、お子さんの生活環境の変化(屋内・屋外での活動、メディアの利用状況など)、お子さんの状態の変化(食事・睡眠の状況、心理・情緒面の変化など)について伺います。

【ご依頼内容】

- ・ 次のページの「****」中の文面を、貴園のウェブサイトやメーリングリスト、SNS等で保護者の皆様に周知していただけますと幸いです。

保護者各位

新型コロナウイルス感染症流行に伴う乳幼児の成育環境の変化に関する緊急調査ご協力をお願い

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）では、新型コロナの流行、ならびにそれに伴う社会情勢の変化が、保護者やお子さんの日常生活や心身の健康にどのような影響を与えているのかを学術的に明らかにすることを目的とした調査を実施しています。新型感染症の流行の収束に伴い、今後、段階的に園へのアクセスを正常化していく政策が行われていくものと考えられますが、実態に即した的確な対応や支援を行っていくためには、子どもや保護者の実態把握が不可欠です。

つきましては、保護者の皆様におかれましては、可能な範囲で、以下のウェブ調査にご協力賜れますと幸いです。

【調査実施者】東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（Cedep）

【調査責任者・担当者】野澤祥子 同センター准教授

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 E-mail : nozawa[@]p.u-tokyo.ac.jp

【調査回答用 URL】 <https://forms.gle/XYTjKnV9eFckwsmg6>

上記 URL にアクセスし、5月2日（土）17時～5月12日（火）までにご回答ください。

未就学児のご家庭に本調査のことを知らせたり、SNS 等で発信したりしていただくことを歓迎します。

【対象者】0歳～就学前（6歳）のお子さんの保護者

【調査の概要】調査は以下の4つのパートに分かれています。

第1部 回答者の基本属性（お子さんとの続柄、家族構成、現在の就労・勤務状況など）

第2部 養育環境の変化（育児時間や育児方法の変化、子育てに関して現在心配していることなど）

第3部 お子さんの生活環境の変化（屋内・屋外での活動、メディアの利用状況など）

第4部 お子さんの状態の変化（食事・睡眠の状況、心理・情緒面の変化など）

【倫理面とプライバシーへの配慮】

- ・ 本調査は、東京大学ライフサイエンス研究倫理支援室に研究プロジェクト申請書類を提出し、緊急時下での手続きを経て実施しています。
- ・ 回答は任意であり、もし回答の途中で気分が悪くなったり、回答を中止したくなったりした場合には、その場で回答を取り止めていただいても構いません。ご無理のない範囲で、本調査にご協力いただけますと幸いです。
- ・ 匿名のアンケートであり、個人情報を取扱することはありません。
- ・ アンケートの途中に郵便番号を取扱する項目がありますが、これは地域による子育て環境の変化や自治体の対応の違いを把握する目的で設けられています（なお、この設問は任意です）。

【結果の公表】

本調査結果(速報値)は、5月中を目途に、CedepのWEBページ(<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/>)に掲載します。その後も、随時解析結果をWEBページ上に掲載していきます。その他、学会発表や学術雑誌等で発表する可能性があります。なお、データは、この研究成果の発表後、少なくとも10年間Cedepで厳重な管理の下で保存いたします。

【ご質問・お問い合わせ先】本調査専用お問い合わせフォームよりお願いいたします。

<https://forms.gle/X2WJEYzJuo4adyHE7>

以上